

インフルエンザ予防接種費用軽減事業の 実施状況について

市では、インフルエンザと新型コロナウイルス感染症との同時流行を回避するため、よりインフルエンザの予防接種を受けやすい環境を醸成することを目的に、今まで予防接種費用の補助対象を小学生以下としていたところを令和2年度から中学生及び妊婦を追加し、一人一回当たりの補助額も上限3,000円に拡充して支援を行ってまいりました。

補助を行っていた接種期間が終了し、接種された人数等がまとまりましたので、令和2年度の実施状況についてお知らせします。

【補助内容】

区分1	区分2	従来（令和元年度まで）	拡充後（令和2年度から）
子ども	小学生	1人目：上限1,000円/回 2人目：上限3,000円/回	いずれも上限3,000円/回
	未就学児	上限3,000円/回	変更なし
	中学生（新規）	—	上限3,000円
一般	妊婦（新規）	—	上限3,000円

【接種実績】

区分	対象者数 (A)	延べ接種者数 (B)	接種率	備考
小学生以下	8,157人 ※1人2回接種	11,520人	70.6% (B) / (A) × 2	令和元年度（小学生以下のみ） 延べ接種者数：10,526人 接種率：63.1%
中学生	2,434人 ※1人1回接種	1,331人	54.7% (B) / (A)	
妊婦	363人 ※1人1回接種	162人	44.6% (B) / (A)	

- ▶小学生以下の対象者については、今年度の接種率が70%を超え、昨年度に比べ、接種率が上昇、また、例年であれば学校の冬休みが終了した以降に児童、生徒のインフルエンザ感染者が増える傾向であったものが、今年度の感染者数については、県指定の定点医療機関の患者数報告に限ればですが、報告人数は流行期に入る目安とされる1人未満で推移。
- ▶学級閉鎖や学年閉鎖についても、例年11月下旬あたりから徐々に発生し、冬休み明け頃にピークを迎えるが、今シーズンに関しては、昨年11月下旬からいまままで、県内でも学級閉鎖等の報告はなし。
- ▶今シーズンに市内でインフルエンザが流行しなかった要因として、市民の皆様が、マスクの着用や手洗い、手指消毒の徹底や、3密を避けること、感染拡大地域への旅行などの自粛など新型コロナウイルス感染症予防を徹底したことが寄与しているものと思われる。